

証券コード 5208

<https://www.arisawa.co.jp>



2026年3月期 第1四半期 連結決算の概要



2025/8/7

株式会社 有沢製作所

目次

- 2026年3月期 第1四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

(百万円)	25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	前年 同期比
売上高	12,080	12,634	4.6%
営業利益	1,069	902	-15.6%
営業利益率	8.8%	7.1%	--
経常利益	1,344	972	-27.6%
純利益	970	728	-25.0%
一株利益(円)	29.28	21.92	-25.1%
為替レート (円/\$)	148.63 161.07	152.55 144.81	--
平均 期末			

- 連結売上高は、電子材料が増加し、前年同期比5億54百万円(4.6%)の増収。
- 営業利益は、ディスプレイ材料の在庫調整、品種構成の変化により、同1億66百万円(15.6%)の減益。
- 経常利益は、前年同期に比べ為替差益が減少し、同3億71百万円(27.6%)の減益。
- 当期純利益は、同2億42百万円(25.0%)の減益。

※()内は利益率を表す。

貸借対照表

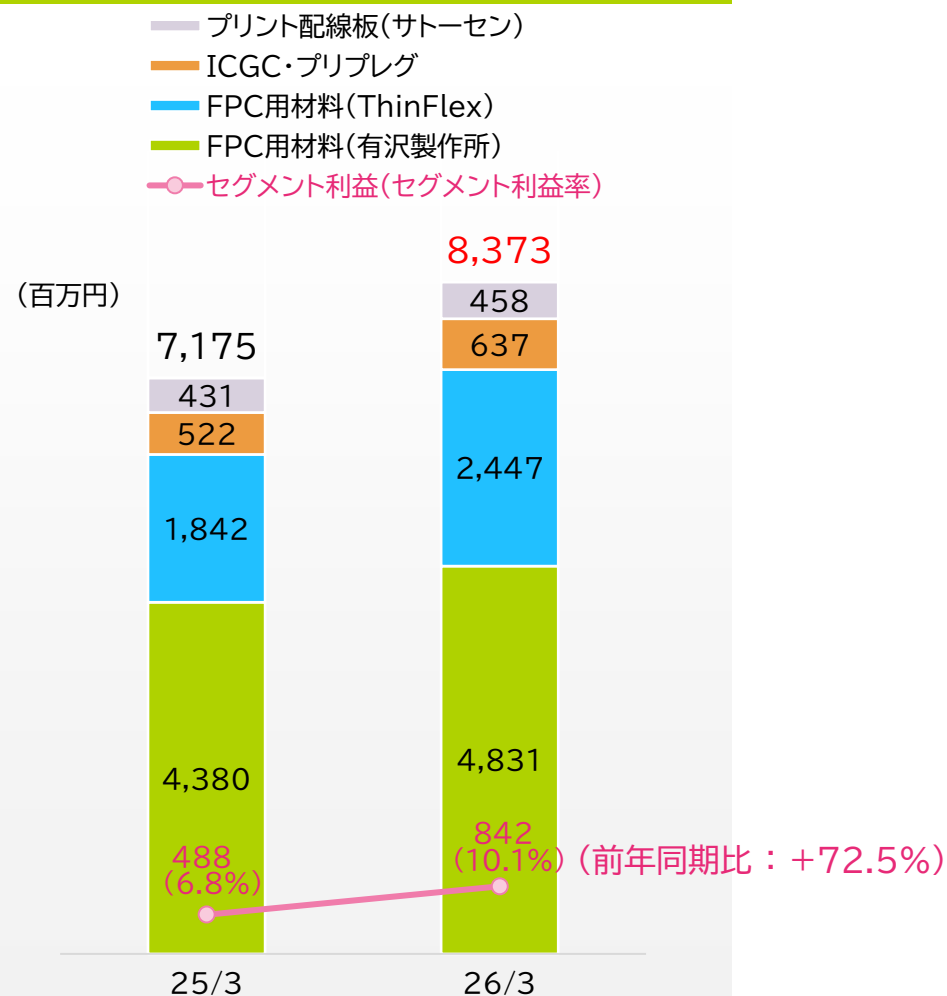
(百万円)	25/3	25/6	増減	
(資産の部)				
流動資産	49,527	47,256	-2,270	現金預金 -1,913、売掛債権 +364、 棚卸資産 -385
有形固定資産、無形固定資産	19,065	18,632	-432	減価償却等
投資有価証券	1,969	1,924	-44	
その他の資産	1,175	1,202	+26	
資産合計	71,736	69,016	-2,720	
(負債の部)				
流動負債	18,582	18,117	-464	買掛債務 -406、未払法人税等 -452、 賞与引当金 +362
固定負債	4,594	4,116	-478	長期借入金 -448
負債合計	23,177	22,234	-942	
株主資本	44,147	43,081	-1,066	利益剰余金 -1,069
その他包括利益合計、新株予約権	4,411	3,700	-710	為替換算調整 -674
負債純資産合計	71,736	69,016	-2,720	

2026年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 1Q 実績	26/3期 1Q 実績	増減	25/3期 1Q 実績	26/3期 1Q 実績	増減
電子材料	7,175	8,373	1,198	488	842	354
FPC用材料(有沢製作所)	4,380	4,831	451			
FPC用材料(ThinFlex)	1,842	2,447	605			
ICGC、プリプレグ	522	637	115			
プリント配線板(サトーセン)	431	458	27			
産業用構造材料	2,888	2,654	-234	461	364	-97
ハニカムパネル	392	448	55			
水処理用FRP製圧力容器	1,885	1,817	-68			
その他	611	389	-221			
電気絶縁材料	575	622	47	-11	23	34
ディスプレイ材料	1,346	900	-446	515	136	-379
関連商品・その他	96	85	-11	57	60	3
合計	12,080	12,634	554	1,510	1,425	-84
			全社費用	-441	-523	
			営業利益	1,069	902	-166

- 連結売上高は、電子材料、電気絶縁材料が増加し、前年同期比5億54百万円(4.6%)の増収。
- 営業利益は、ディスプレイ材料の在庫調整、品種構成の変化により、1億66百万円(15.6%)の減益。
- 電子材料は、スマートフォンおよび半導体の需要増加により、売上高は同16.7%の増収。
- 産業用構造材料は、航空機内装用ハニカムパネル、水処理用FRP製圧力容器は堅調に推移するも、車載用材料が軟調だったことにより、売上高は同8.1%の減収。
- ディ스플레이材料は、3D医療用モニターの在庫調整により、売上高は同33.1%の減収。

電子材料 売上高



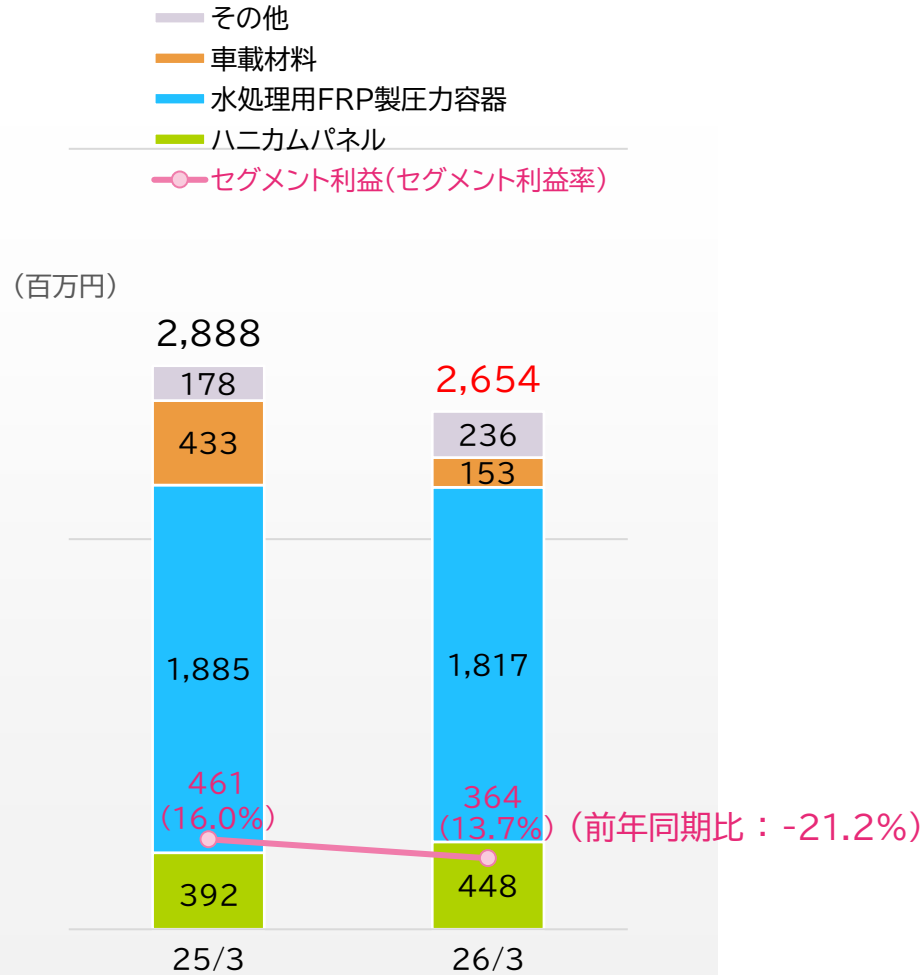
市場

- スマートフォンおよび半導体の需要は堅調に推移している。

業績

- FPC用材料、ICGC、プリント配線板が増加し、前年同期比11億98百万円(16.7%)の増収。
 - FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体向けが堅調で同10.3%増収。
 - FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要回復により、同32.8%増収。
 - ICGC・プリプレグは、同22.1%増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は3億54百万円(同72.5%)の増益。

産業用構造材料 売上高



市場

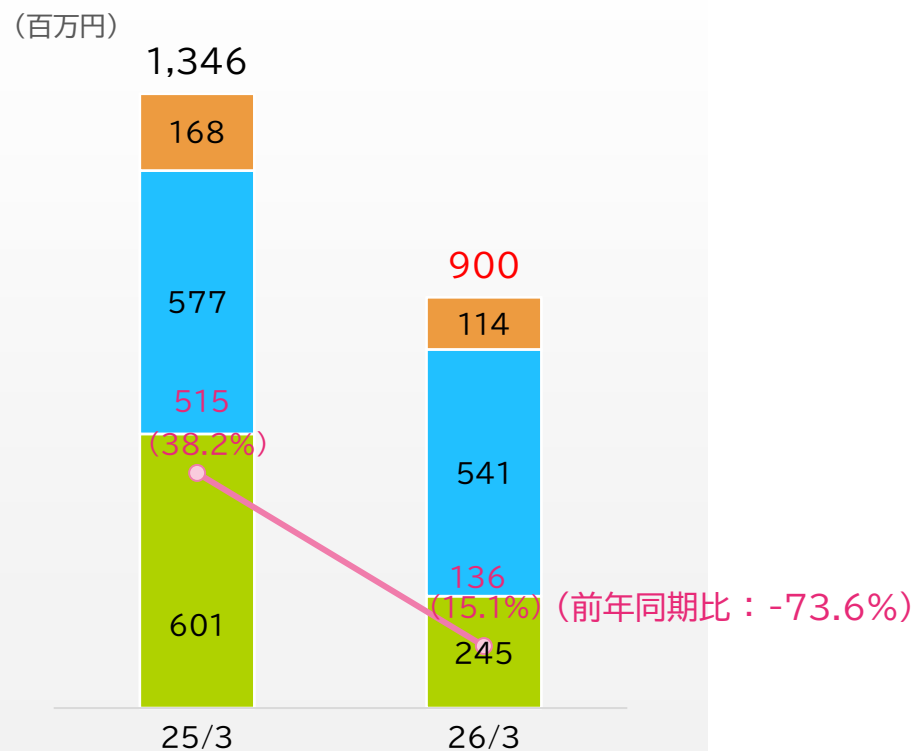
- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が堅調に推移している。
- コロナ後の経済正常化に伴い、航空需要は緩やかに回復している。
- 環境負荷低減に向けた新エネルギーの開発が活発化しており、当社においても開発案件が増えている。

業績

- 車載材料が軟調だったことなどにより、前年同期比2億34百万円(8.1%)の減収。
 - 航空機内装用ハニカムパネルは前年同期比14.1%増収。
 - 水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。為替の影響などもあり、同3.6%減収。
 - 車載材料は、同64.5%減収。
- 売上高の減少により、セグメント利益は同97百万円(同21.2%)の減益。

ディスプレイ材料 売上高

- その他
- 偏光利用材料
- 3D関連材料
- セグメント利益(セグメント利益率)



市場

- ・ 3D関連材料は、上期は在庫調整局面となる。
なお、医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓活動をしている。

業績

- ・ 3D関連材料、偏光利用部材ともに軟調だったことにより、前年同期比4億46百万円(33.1%)の減収。
- ・ 3D関連材料は、同3億56百万円(59.3%)減収。
- ・ 偏光利用部材は、同35百万円(6.1%)減収。
- ・ 売上高の減少により、セグメント利益は3億79百万円(73.6%)の減益。

2026年3月期 第1四半期の5月7日予想との増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 1Q 5/7予想	26/3期 1Q 実績	増減	26/3期 1Q 5/7予想	26/3期 1Q 実績	増減
電子材料	7,700	8,373	673	650	842	192
FPC用材料(有沢製作所)	4,200	4,831	631			
FPC用材料(ThinFlex)	2,400	2,447	47			
ICGC、プリプレグ	650	637	-13			
プリント配線板(サトーセン)	450	458	8			
産業用構造材料	2,600	2,654	54	400	364	-36
ハニカムパネル	400	448	48			
水処理用FRP製圧力容器	1,800	1,817	17			
その他	400	389	-11			
電気絶縁材料	600	622	22	0	23	23
ディスプレイ材料	900	900	0	250	136	-114
関連商品・その他	100	85	-15	50	60	10
合計	11,900	12,634	734	1,350	1,425	75
			全社費用	-450	-523	
			営業利益	900	902	2

- 電子材料が売上高、セグメント利益とも予想を大きく上回った。
- 売上高は予想より7億34百万円(6.1%)増加したが、ディスプレイ材料の減益により、営業利益は予想並みとなった。

目次

- 2026年3月期 第1四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

上期連結業績予想(前年同期・5月7日予想との比較)



(百万円)	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 5/7予想	26/3期 上期 8/7予想	前年 同期比	5/7 予想比
売上高	25,172	24,600	24,600	-2.3%	±0.0%
営業利益	2,734	2,100	2,100	-23.2%	±0.0%
営業利益率	10.9%	8.5%	8.5%		
経常利益	2,917	2,200	2,200	-24.6%	±0.0%
純利益	2,122	1,500	1,500	-29.3%	±0.0%
一株利益(円)	63.91	45.16*	45.15**	-29.4%	±0.0%
配当金(円)	42.00	合計 44.00	44.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	152.36 142.73	146.92 140.00	148.40 140.00	--	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算
 ** 6月30日現在の発行株式数で試算

- 前年同期比
- 連結売上高は、産業用構造材料、ディスプレイ材料が減少し、前年同期比5億72百万円(2.3%)の減収と予想する。
 - 営業利益は、品種構成の変化により同6億34百万円(23.2%)の減益と予想する。
 - 経常利益は、同24.6%の減益と予想する。
 - 当期純利益は、同29.3%の減益と予想する。

- 5/7予想比
- 売上高は前回予想を据え置くが、電子材料と産業用構造材料は増収、ディスプレイ材料は減収を見込む。
 - 営業利益、経常利益、当期純利益についても、前回予想を据え置く。

2026年3月期 上期予想の前年同期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 8/7予想	増減	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 8/7予想	増減
電子材料	15,229	16,000	771	1,296	1,600	304
FPC用材料(有沢製作所)	8,818	8,800	-18			
FPC用材料(ThinFlex)	4,566	5,100	534			
ICGC、プリプレグ	952	1,200	248			
プリント配線板(サトーセン)	893	900	7			
産業用構造材料	6,026	5,600	-426	1,182	1,050	-132
ハニカムパネル	769	900	131			
水処理用FRP製压力容器	3,990	3,800	-190			
その他	1,267	900	-367			
電気絶縁材料	1,180	1,150	-30	33	50	17
ディスプレイ材料	2,545	1,700	-845	921	300	-621
関連商品・その他	192	150	-42	114	100	-14
合計	25,172	24,600	-572	3,546	3,100	-446
			全社費用	-812	-1,000	
			営業利益	2,734	2,100	-634

市場予想

- ・ スマートフォン、半導体の需要は堅調に推移する。
- ・ 航空需要は緩やかに回復を継続する。

業績予想

- ・ 売上高は前年同期比2.3%の減収、営業利益は同23.2%の減益と予想する。
- ・ 産業用構造材料は水処理用FRP製压力容器および車載材料、ディスプレイ材料は3D医療用モニターの売上減少により減益を見込む。

2026年3月期 上期予想の5/7予想比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 上期 5/7予想	26/3期 上期 8/7予想	増減	26/3期 上期 5/7予想	26/3期 上期 8/7予想	増減
電子材料	15,900	16,000	100	1,400	1,600	200
FPC用材料(有沢製作所)	8,800	8,800	0			
FPC用材料(ThinFlex)	5,000	5,100	100			
ICGC、プリプレグ	1,200	1,200	0			
プリント配線板(サトーセン)	900	900	0			
産業用構造材料	5,300	5,600	300	850	1,050	200
ハニカムパネル	700	900	200			
水処理用FRP製圧力容器	3,600	3,800	200			
その他	1,000	900	-100			
電気絶縁材料	1,200	1,150	-50	50	50	0
ディスプレイ材料	2,000	1,700	-300	600	300	-300
関連商品・その他	200	150	-50	100	100	0
合計	24,600	24,600	0	3,000	3,100	100
			全社費用	-900	-1,000	
			営業利益	2,100	2,100	0

市場予想

- ・ スマートフォン、半導体の需要は堅調に推移する。
- ・ ハニカムパネル、水処理用FRP製圧力容器は堅調に推移する。
- ・ 3D医療用モニターは在庫調整局面が継続する。

業績予想

- ・ 売上高、営業利益は5/7予想を据え置く。

通期連結業績予想(前期・5月7日予想との比較)

(百万円)	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 5/7予想	26/3期 通期 8/7予想	前期比	5/7 予想比
売上高	49,815	51,400	51,400	3.2%	±0.0%
営業利益	4,893	4,500	4,500	-8.0%	±0.0%
営業利益率	9.8%	8.8%	8.8%		
経常利益	5,267	4,500	4,500	-14.6%	±0.0%
純利益	3,969	3,200	3,200	-19.4%	±0.0%
一株利益(円)	119.49	96.33*	96.32**	-19.4%	±0.0%
配当金(円)	合計 96.00	合計 88.00	合計 88.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均	151.69	143.00	143.00	--	--
期末	149.52	135.00	135.00	--	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算
 ** 6月30日現在の発行済株式数で試算

前期比

- 連結売上高は、電子材料、産業用構造材料が増加し、前期比15億84百万円(3.2%)の増収と予想する。
- 営業利益は、品種構成の変化により同3億93百万円(8.0%)の減益と予想する。
- 経常利益は、同14.6%の減益。
- 当期純利益は、同19.4%の減益。

5/7予想比

- 5/7予想を据え置く。

2026年3月期 通期予想の前期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 8/7予想	増減	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 8/7予想	増減
電子材料	31,477	33,000	1,523	2,854	3,400	546
FPC用材料(有沢製作所)	17,520	17,600	80			
FPC用材料(ThinFlex)	10,092	11,000	908			
ICGC、プリプレグ	2,067	2,500	433			
プリント配線板(サトーセン)	1,798	1,900	102			
産業用構造材料	10,616	12,100	1,484	1,762	2,200	438
ハニカムパネル	1,160	2,300	1,140			
水処理用FRP製圧力容器	7,254	7,500	246			
その他	2,202	2,300	98			
電気絶縁材料	2,457	2,300	-157	170	100	-70
ディスプレイ材料	4,913	3,700	-1,213	1,729	600	-1,129
関連商品・その他	352	300	-52	210	200	-10
合計	49,815	51,400	1,584	6,725	6,500	-225
			全社費用	-1,832	-2,000	
			営業利益	4,893	4,500	-393

市場予想

- スマートフォン、半導体の需要は堅調に推移する。
- ハニカムパネル、水処理用FRP製圧力容器も堅調に推移する。
- 3D医療用モニターは上期の在庫調整が影響する。偏光利用部材も軟調に推移する。

業績予想

- 売上高は前期比3.2%の増収、営業利益は同8.0%の減益と予想する。
- 減益の主な要因は、ディスプレイ材料の減収による。

2026年3月期 通期予想の5/7予想比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 通期 5/7予想	26/3期 通期 8/7予想	増減	26/3期 通期 5/7予想	26/3期 通期 8/7予想	増減
電子材料	33,000	33,000	0	3,000	3,400	400
FPC用材料(有沢製作所)	17,500	17,600	100			
FPC用材料(ThinFlex)	11,000	11,000	0			
ICGC、プリプレグ	2,600	2,500	-100			
プリント配線板(サトーセン)	1,900	1,900	0			
産業用構造材料	11,200	12,100	900	1,800	2,200	400
ハニカムパネル	1,600	2,300	700			
水処理用FRP製圧力容器	7,200	7,500	300			
その他	2,400	2,300	-100			
電気絶縁材料	2,500	2,300	-200	100	100	0
ディスプレイ材料	4,300	3,700	-600	1,300	600	-700
関連商品・その他	400	300	-100	200	200	0
合計	51,400	51,400	0	6,400	6,500	100
全社費用				-1,900	-2,000	
営業利益				4,500	4,500	0

市場予想

- ハニカムパネル、水処理用FRP製圧力容器は堅調に推移する。
- 3D医療用モニターは在庫調整局面が継続する。

業績予想

- 売上高、営業利益ともに全体では5/7予想を据え置く。
- 電子材料はFPC用材料、産業用構造材料はハニカムパネルおよび水処理用FRP製圧力容器の売上が堅調に推移する。
- ディスプレイ材料は軟調に推移する。

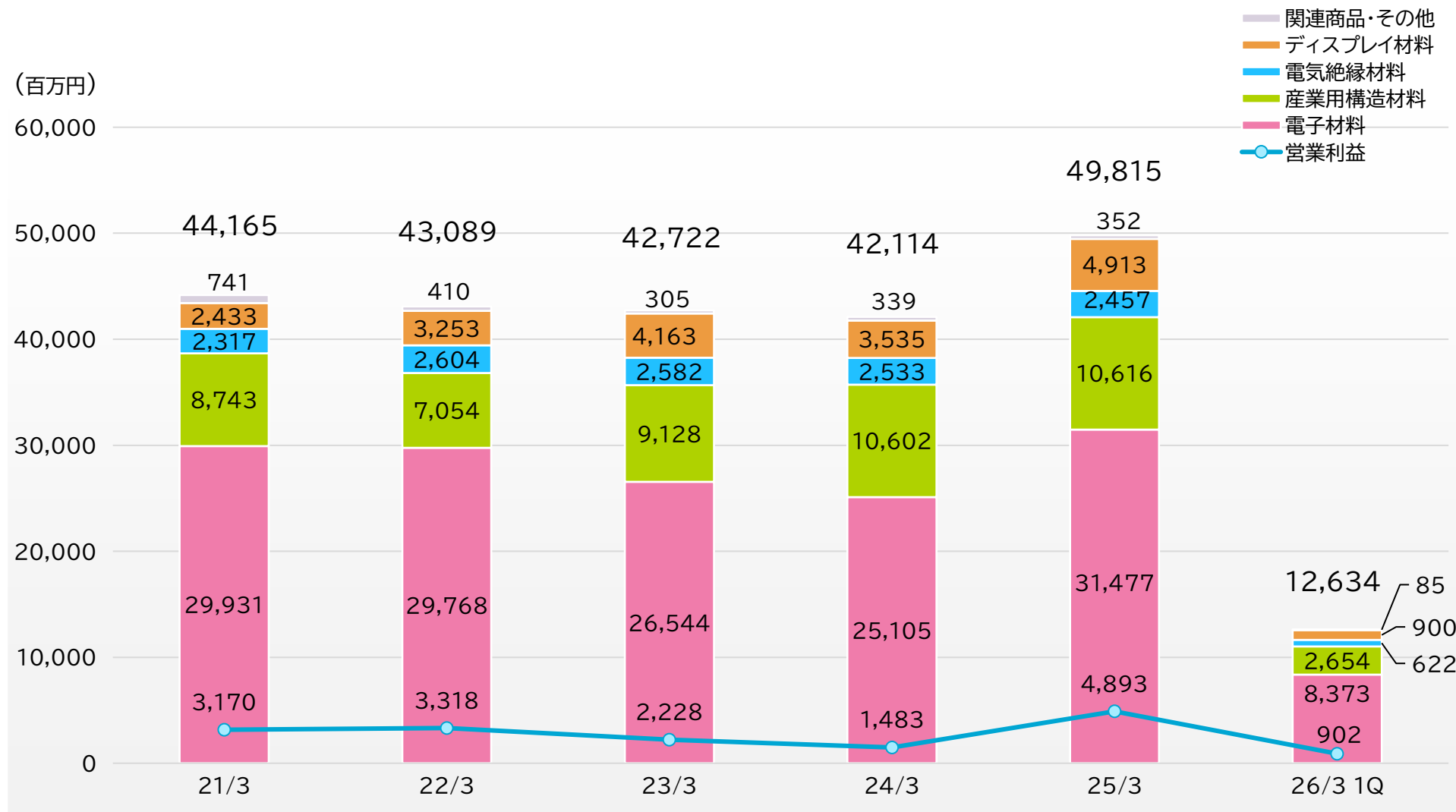
目次

- 2026年3月期 第1四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

会社別 第1四半期業績(前年同期比・予想比)

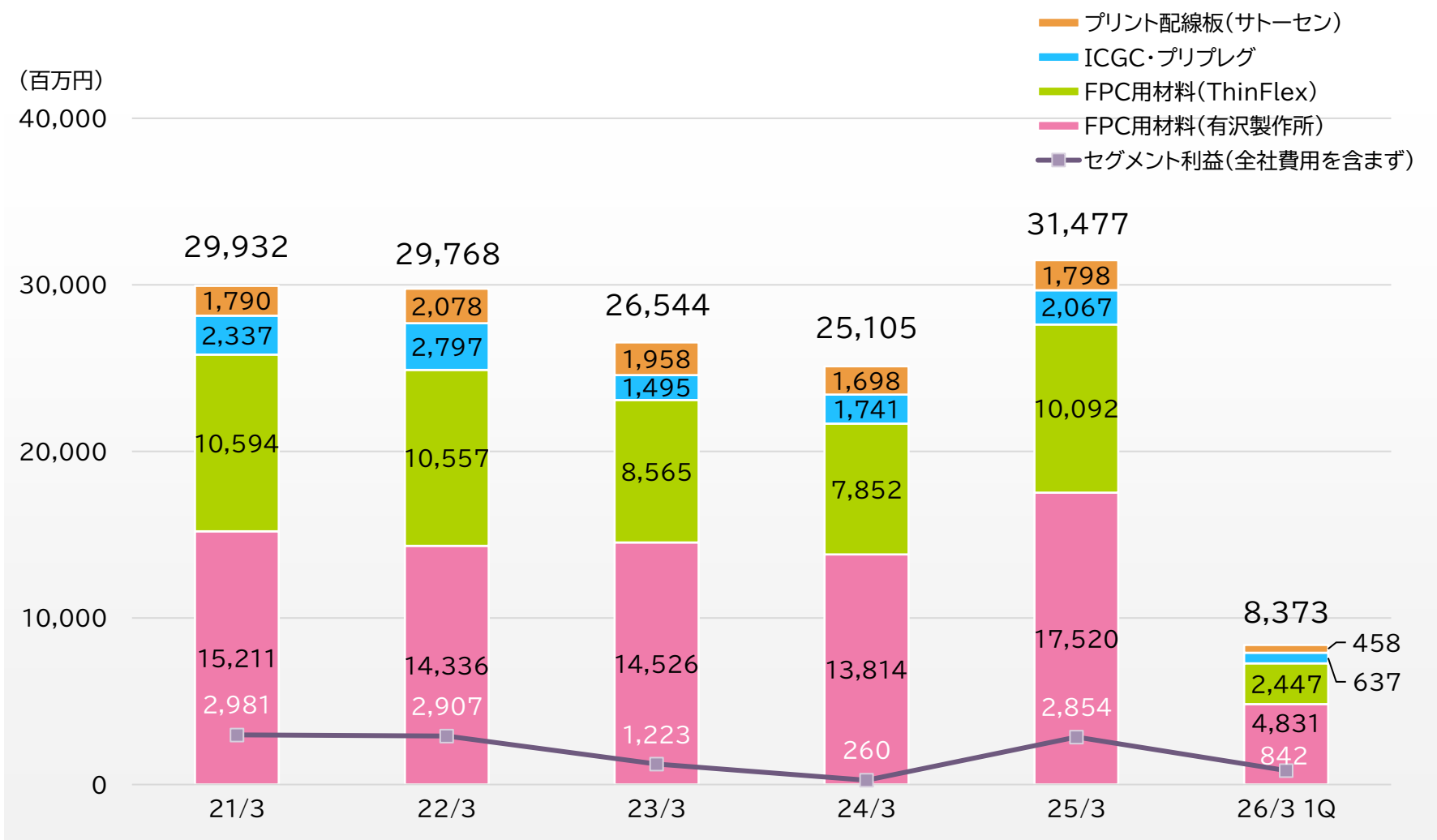
(百万円)	売上高					営業利益				
	25/3期 1Q 実績	26/3期 1Q 5/7予想	26/3期 1Q 実績	増減 対前年 同期	増減 対予想	25/3期 1Q 実績	26/3期 1Q 5/7予想	26/3期 1Q 実績	増減 対前年 同期	増減 対予想
単体										
有沢製作所	7,971	7,200	7,973	2	773	625	410	420	-205	10
連結会社										
シンフレックス	2,211	2,900	2,907	696	7	-53	70	61	114	-9
サトーセン	431	450	458	27	8	14	10	1	-13	-9
アリサワファイバーグラス	540	600	678	138	78	-14	20	4	18	-16
プロテック	1,834	1,750	1,773	-61	23	356	310	313	-43	3
有沢総業	462	500	501	39	1	25	20	20	-5	0
有沢樹脂工業	53	70	93	40	23	-4	0	7	11	7
カラーリンク・ジャパン	576	530	543	-33	13	121	60	60	-61	0
(連結消去額)	-1,998	-2,100	-2,292			-1	0	16		
合 計	12,080	11,900	12,634	554	734	1,069	900	902	-167	2

年度別／分野別の業績推移(売上高・営業利益)



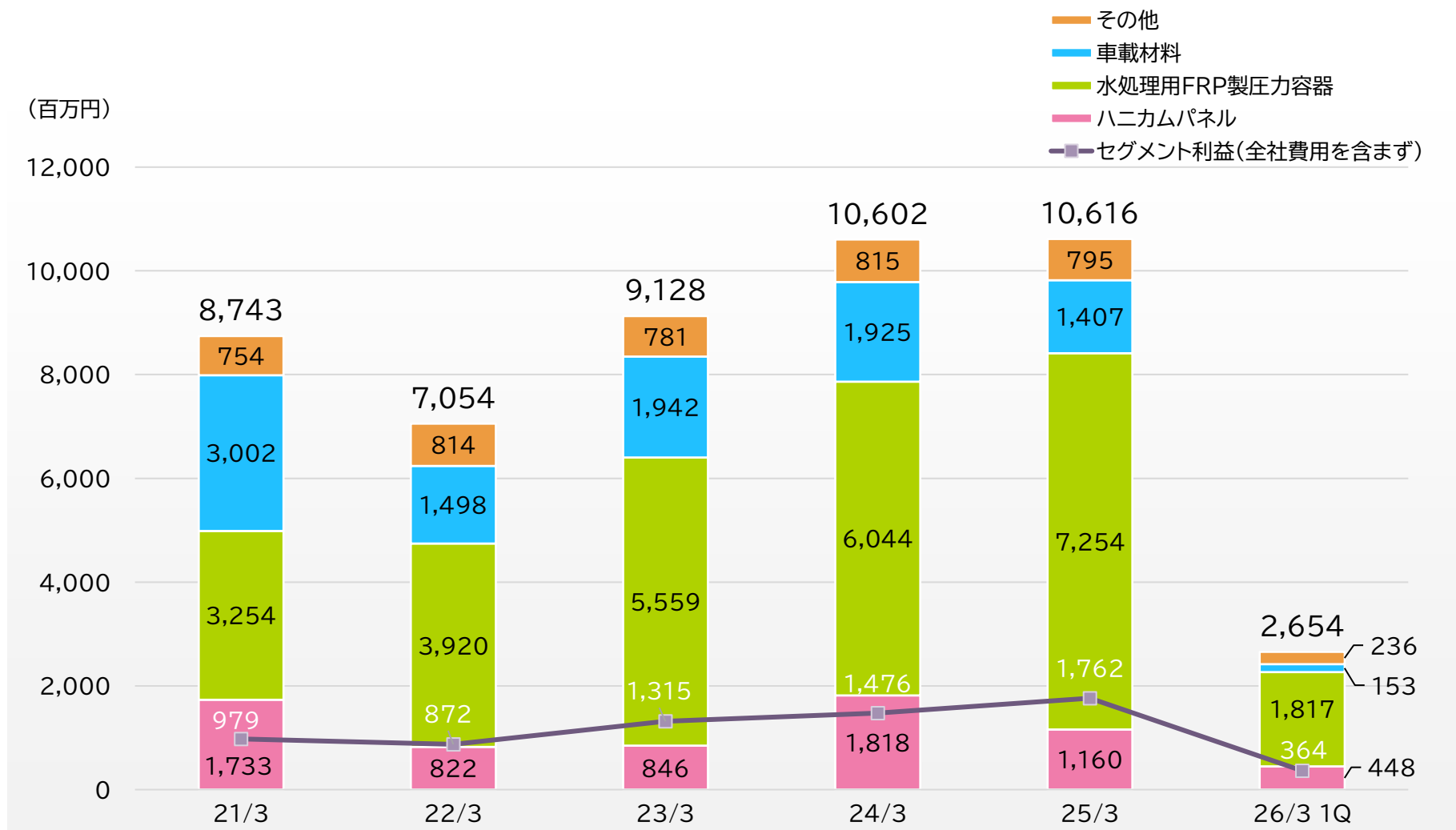
’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

電子材料の売上高推移



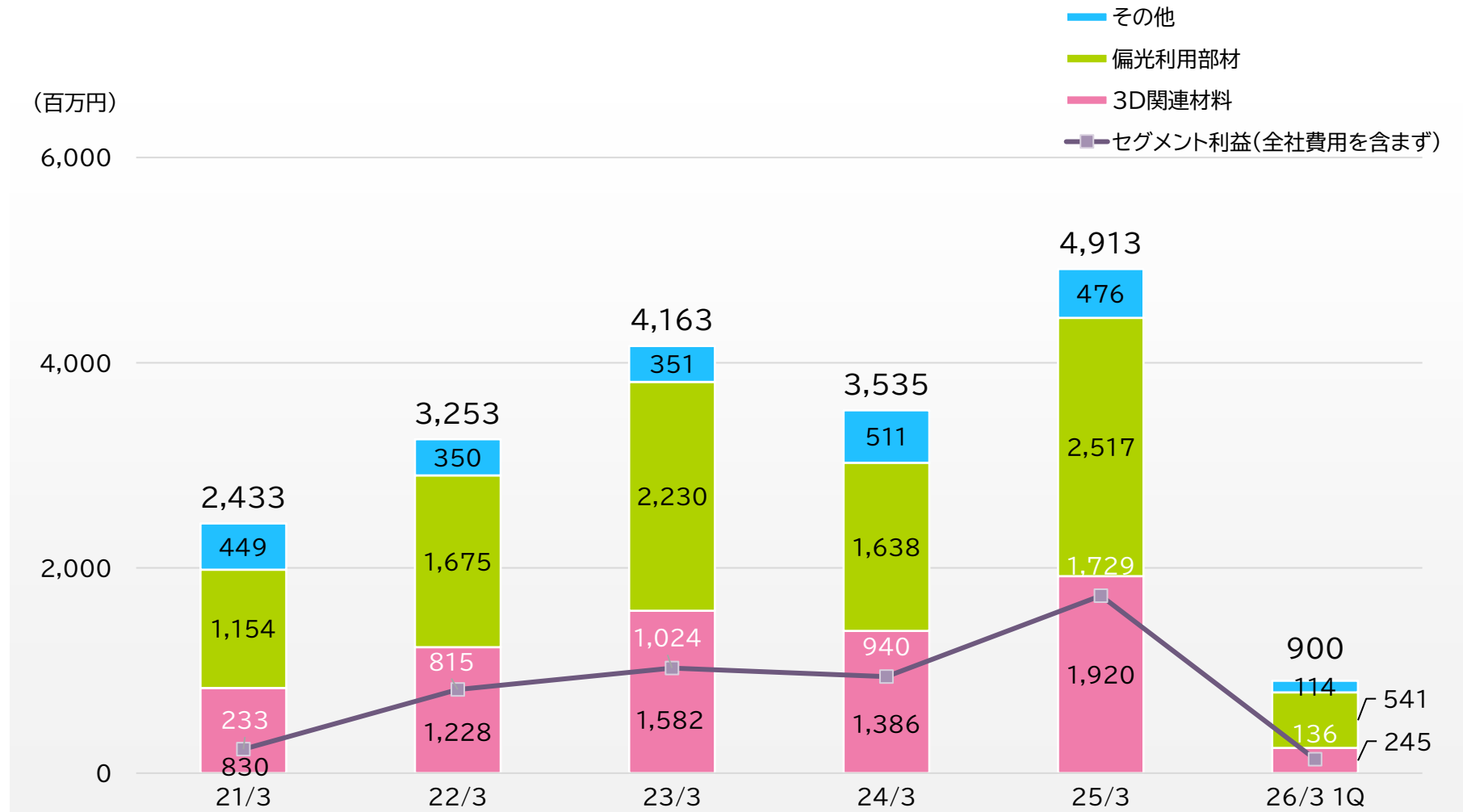
’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

産業用構造材料の売上高推移



’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

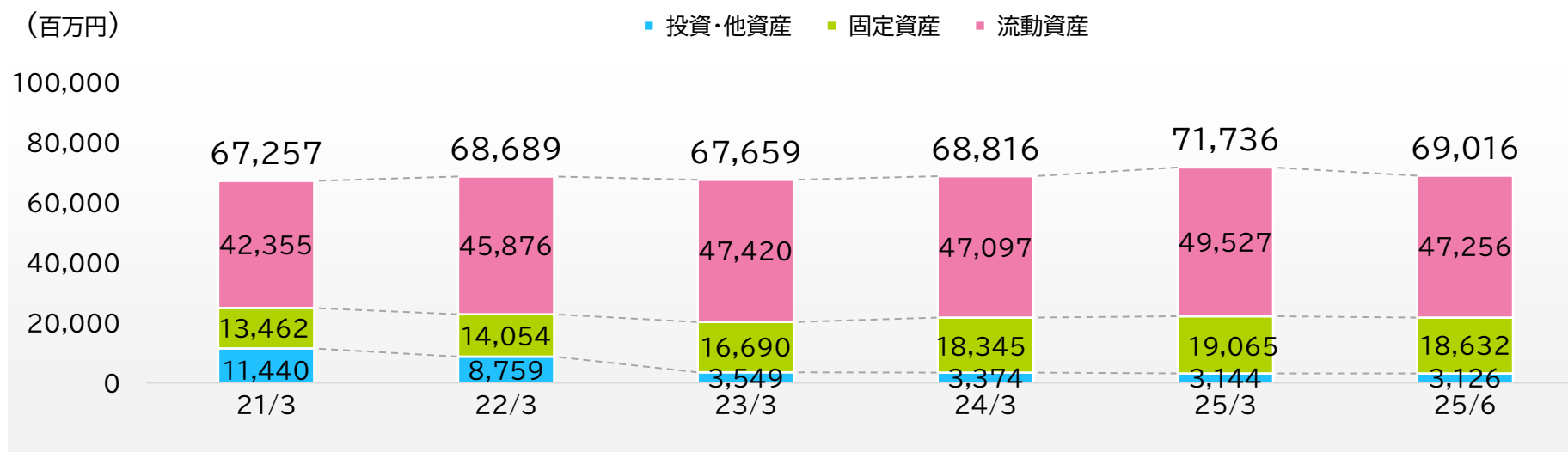
ディスプレイ材料の売上高推移



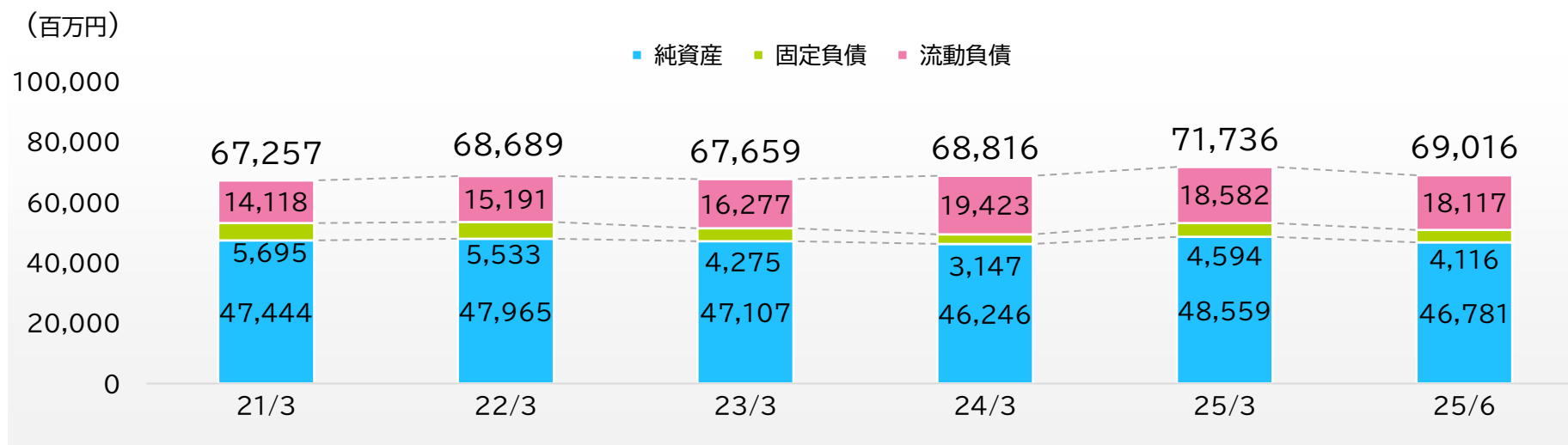
’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

連結貸借対照表(要旨)の推移

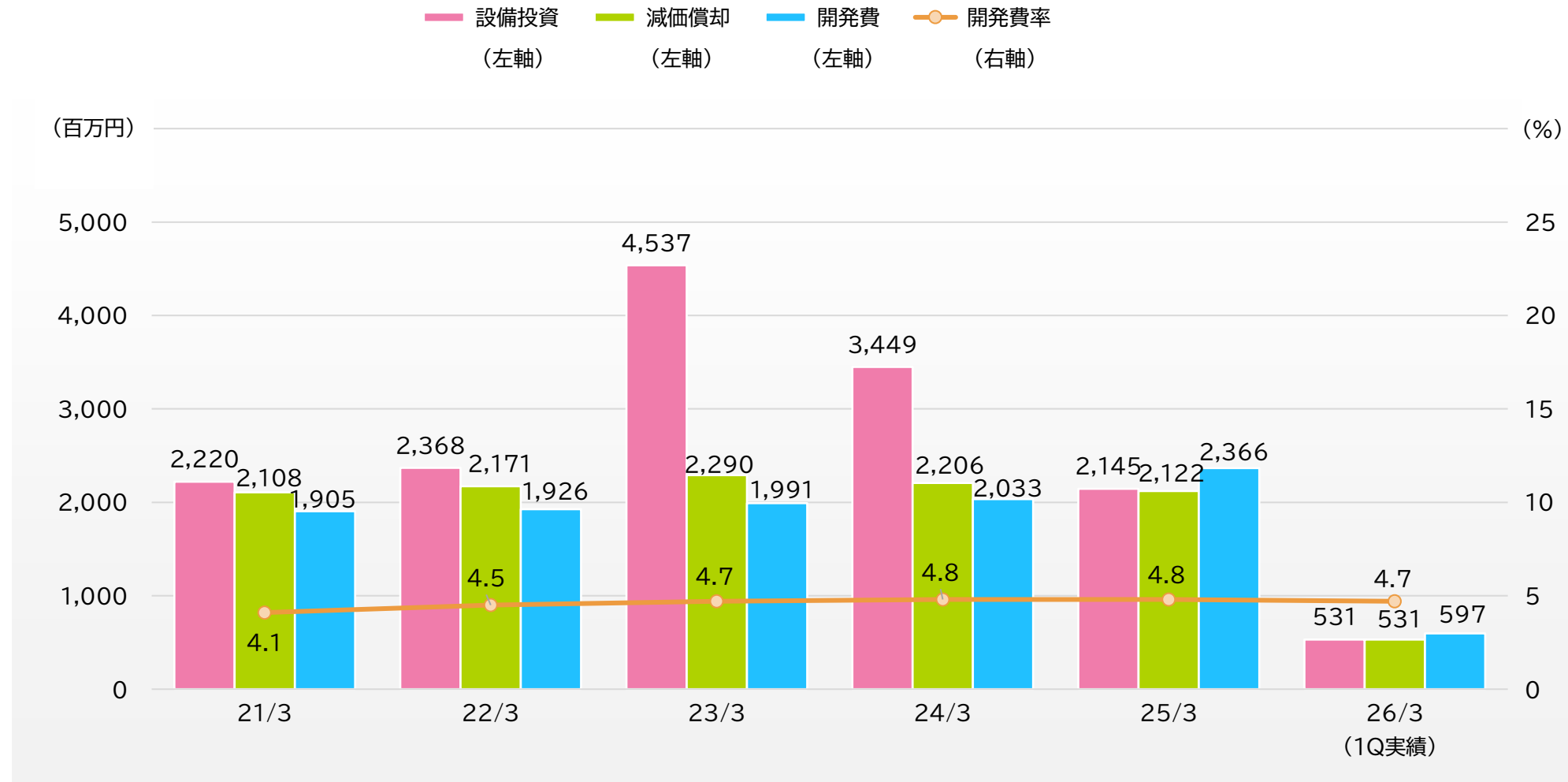
資産の部



負債・純資産の部



設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。